

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	東松原保育園
活動日時	令和 7年 8月 25日 (月)
クラス名(年齢)	きりん組(4歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

自然の中で音の違いを知ろう

<テーマの設定理由>

自然の中での音に気が付き、自然に興味を持てるようにしたい。
物の硬さで音が変わることを知ってほしかった。

2. 活動スケジュール

落ち葉を踏んで音がすることを知る。→なぜ音がするのかを考える。→硬さで物が違うことに気が付く。→落ち葉だけでなく違った硬いものも音がするのかを試してみる。

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

落ち葉、枝、縁石

4、探究活動の実践

<活動内容>

落ち葉を踏んでみてどんな音がするのかを知る。落ち葉と似た音が生活の中でないか、問いかけてみる。食べ物で硬いものは音がして、柔らかいものは音があまりしないことに気が付く。近くにあった縁石を手でたたいたり、枝など硬いもので叩き音の違いを知る。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 落ち葉を踏んで『パリパリ』と音がすることに気が付く。 	② 食べ物などで同じ音がするものはないか問いかけてみる。『せんべいはボリボリって音がする』と噛むと音がすることを知らせてくれた。 
③ 近くにあった縁石を手でたたいてみる。子『ぺちぺちって音がする』 保『硬いもので叩いてみたらどんな音がするかな?』 子『変わらないんじゃないかなあ』 ④ 枝があったので叩いてみるよう勧めてみた 	⑤ 子『どんどんって音がする!』 子『違うものでもやってみたらいいんじゃない?』 ⑥ その後落ち葉で叩いたりこすって音の変化を楽しんでいた。 

5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自然物で音がすることや、硬さの違いで音が違うことに気が付くことが出来た。生活の中での似た音はないか問いかけた時に、『ない』と答えていた子が多かったので、生活の中でも音に耳を傾けられるように関わっていきたいと思った。また生活の音が身近な楽器の音に似ているかなど気が付けるように、楽器に触れられるように環境を作っていきたいと思う。